

令和 6 年度第 4 回相談支援従事者研修検討会 検討チーム報告

内容整理チーム

チームメンバー名（ 美濃口・稲垣・高江洲・蛭川・古橋 ）

報告内容

1 今年度の取り組み内容・成果

報告内容

○私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.9

【内容】行政職員で「福祉に関わったことがない人」に、一目で相談支援専門員を理解できる資料を加え ver9 として作成する。

【成果】第 3 回にて ver9 ではなく行政向け資料として作成することになった。東京都心身障害者福祉センター内部で行政職に回覧してもらい意見聴取を行った。

○相談支援従事者研修の新事例

【成果】『鈴木陽介さん』の事例について以下の変更を行った

モニタリングについて

- ・初任者研修…20 歳の計画案+3 か月後モニタリング+6 ヶ月後モニタリング
- ・現任者研修…23 歳の計画案+6 ヶ月後モニタリング

～変更点～

- ・サービス等利用計画、6 ヶ月後のモニタリング報告書、週間計画案

○補助教材

講義動画をキャプチャリングして YouTube にて限定公開した。視聴回数などを確認して効果の程を検証した。

①演習指導者養成研修（初任コース）受講者向け

演習指導者養成研修 1 日目（初任コース）の内容を撮影したものを、動画配信

研修 1 日目から 2 日目に期間があくため復習できるように

結果：65 回再生（受講者 20 人程度）

②初任者研修ファシリテーター向け

インテーク、ニーズ整理、5 Pics 等 テーマ別に前年度のファシリテーター説明会動画を編集し、6 本の動画として配信

結果：25 回から 92 回再生

※ファシリテーター（演習指導者養成研修受講者含む）向けのアンケートでは、多くのファシリテーターが動画を見て、とても役に立った～まあまあ役に立ったとの回答だった。

2 次年度への引継ぎ事項

- ・行政向け資料の作成。
- ・出演者に再度協力依頼し、補助教材を次年度も活用する。研修内容が大きく変更となる際に再度取り扱いを検討する。

3 他のチームから意見が欲しいこと

- ・次年度の内容整理チームの取り組みについて。

チームメンバー名（ 安井・神作・芝・藤田・横田 ）

報告内容

1 今年度の取り組み内容・成果

① 【自治体・拠点基幹実習対応者向けの実習説明会の検討と実施】

●初任者研修実習説明会の実施

実施日：令和6年9月19日（木曜）午後

実施方法：オンライン

→初任者研修における地域実習を円滑に実施するために窓口となる自治体職員及び拠点機関等（実習対応者）を対象に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を作成し、研修で使用するツールの説明を行った。また、地域実習場面のデモを見てもらい、地域実習の参考にさせていただくための説明会を実施した。昨年度からの引継事項を踏まえて、デモンstrarioについてはより現場に近い内容に変更した。

●現任研修実習説明会の実施

実施日：令和6年5月27日（月曜）午後

実施方法：オンライン

→傾聴型スーパービジョンの説明及び地域実習場面のデモを見てもらい、地域実習を実際に行うための説明会を実施した。

●受講者がいる自治体で説明会に一度も参加がない自治体への説明会参加の呼びかけ

これまで説明会を継続して行っているが受講生がいても説明会へ参加がない自治体があり、事務局から個別に説明会への参加呼びかけを行ってもらい、全説明会を通じて一度も参加がない自治体はなくなった。

●説明会動画のインターネット配信

→説明会に参加できなかった自治体職員や拠点機関及び実習対応者向けに説明会の録画動画をインターネット配信した。

●初任研修・現任研修の自治体職員及び実習対応者に向けた事後アンケートの実施

→初任研修終了後に自治体及び実習対応者向けに実習対応に関するアンケートを行った。アンケート結果から見えてきた課題については次年度以降の研修づくり等に活用していく。

昨年度からの引継事項を踏まえてアンケート内容を一部変更した。

●研修別チームとの連携

→地域の中で人材育成を行う仕組み作りを構築するために、人材育成チームメンバーを研修ごとに配置した。

初任研：横田委員、芝委員

現任研：神作委員、藤田委員

主任研：安井

専門コース別（SV）：安井

演習指導者養成研修：芝委員

2 次年度への引継ぎ事項

① 【自治体・拠点機関実習対応者向けの実習説明会の検討】

●実習説明会の改善

→実習対応者が現行の法定研修内容を理解していない場合があり、説明会以外にも演習指導者養成研修への参加を促し、法定研修に関わっていただく必要がある

- ➡初任者研修、現任研修それぞれの目的を整理して内容やポイントをわかりやすく、まとめたものを提示
- ➡初任者研修、現任研修の地域実習の違いが比較して確認できるものがあるとよい
- ➡地域実習を行う上で、事前打ち合わせや振り返りを実施している自治体もあることから今後地域実習を行うための参考として他自治体の取り組みを知る機会があるとよい
- ➡初任者研修受講者が地域実習へ行く際に不安が大きいことから研修5日目の発表時間を短縮して、実習に臨むにあたり、心構え等話ができる時間を作る（初任研チームとも共有）

➡初任者研修から主任研修で利用する地域資源調べは共通して使用しているために地域資源調べの意図を伝える（課題作成が目的になっている）

② 【ファシリテーター育成の検討】

➡ファシリテーターの力量に差があり、法定研修の構造や内容を理解していない方もいることから、ファシリテーター説明会の中で「大事にしてほしいこと」を受講者に伝えられるようにすることやファシリテーターが受講者に対して講評やコメントができるように受講者を観察することを伝える

➡演習指導者研修受講者が実際に法定研修のファシリテーターを担う際に不安が大きいことからフォローできる仕組みを検討する

➡自治体及び実習対応者向けのアンケートは継続して実施するが、質問項目については再検討

3 他のチームから意見が欲しいこと

- ① 初任者研修受講者が地域実習へ行く際に不安が大きいことから研修5日目の発表時間を短縮して、実習に臨むにあたり、心構え等を話ができる時間を作ることはできないか
- ② 地域実習を担当する相談支援専門員が演習指導者養成研修を受講して、ファシリテーターとして研修に関わっていただくことができる仕組みができないか